

## 成田 T I C 案内業務事例-①

### (2016年3月)

① 宿の予約が確定しないまま来日（メキシコ 女性2人 20代）

Q：民泊を紹介するサイトで予約をリクエストしたがオーナーから返事がない。どこか安い宿泊施設を紹介してほしい。

A：19時過ぎに来訪。民泊をリクエスト済み、との事だったが、返事がなく困っていた。そこで都内のゲストハウスをあたったところ、運よく女性用ドミトリーに空きがあったため予約をした。予約の詳細を印刷して渡し、交通手段を案内して送り出した。その後、民泊のオーナーからOKの返事があたりして色々やりとりがあったが、最終的にゲストハウスとなった。

② 御柱祭に行きたい（フランス 男性 20代）

Q：北海道、紋別に住む友人の牧場で乳しぼりをするために来日。交通手段を知りたい。また、長野で7年ぶりに開催される御柱祭へも行きたい。

A：すでにバニラエアで新千歳までの便は予約済みとのことであった。新千歳からは、札幌発 7：00AM の北海道中央バスで行く方法を提案した。

御柱祭（おんばしらまつり）は長野県諏訪大社のお祭りで、切り出した16本の巨大な丸太を大勢の氏子が曳行し、途中急坂を下るなどして4箇所えいこうの各宮まで運び、各宮の四方に立て替えるという勇壮な祭りで、7年に一度行われる。上社と下社2つあり、日程と特徴が異なる。

上社は御柱から角のように突出すめどでこが特徴。そこに鈴なりに若衆たちが乗って指揮をとりながら柱を運び、下社は御柱にそのまま若衆が乗って運ぶが、いずれも、若衆を乗せたまま御柱が滑り落ちる木落とし坂がクライマックスで、観覧席も設けられている。（既に完売）上社の木落としはバランスをうまくとり、優美さを競いあう。（4月2-4日）よくテレビなどで紹介されているのは迫力のある下社の方の木落としである。（4月8-10日）

来訪者にどちらを希望するか尋ねると下社を希望とのこと。前もって自身で近隣のホテルを探していたようだが、どこも満室だったので、東京から日帰り予定とのこと。

新宿駅からJR特急あずさで下諏訪駅まで行き、そこからタクシーに乗らなければいけないのだが、交通規制が敷かれ、非常に混雑するためタクシーが拾えるかどうか分らず、木落とし坂会場にどこ

まで近づけるかも運次第だったため、下諏訪駅をはじめ町中にパブリックビューイングが設置されていることを伝えた。ただ、本人はその場で友達を作り、木落とし坂の近くまで連れて行ってもらうことにしたようだったので Good luck! とエールを送った。

<http://www.onbashira.jp/>

③ Blue Pond に行きたい。Ms. Aurora に乗りたい。(フィリピン 女性 2 人 30 代)

Q : 北海道にある「Blue Pond」へ行きたい。その後、Drift Ice の Ms. Aurora に乗りたい。

A : Blue Pond (青い池) は美瑛町にある、雄大な十勝連峰を背景に山の恵みを受けて誕生した神秘的な場所で、アップル社のパソコンの壁紙になったことで有名になり口コミで広がった。しかし冬季は閉鎖中で、見学は 4 月中旬より可能。行き方は J R 美瑛より白金温泉行きバスで 20 分、白金温泉青池入口で下車。(1 日 5 本)

Ms. Aurora は網走の流氷船「オーロラ号」の事で、予約サイトを案内した。

④ 丸栄陶業に行きたい(オーストラリア 男性 76 歳)

Q : オーストラリアの自宅の屋根に使っている瓦の製造元・丸栄陶業に行き、セールスマネージャーと話をしたい。また工場も見学したい。

A : 会社の連絡先を書いた紙を持参、手紙やメールでは何年もやり取りしているとの事。昭和 59 年に瓦を購入したが、当時は制度の関係で大変苦労して輸入したらしい。家の写真や図面も持参しており、プールとプール脇にバーカウンターもある洋風の豪邸に、屋根は丸栄陶業の瓦を使用しており、大変気に入っているという。会社の H P を確認すると、愛知県西三河地方で採取される粘土を使った日本 3 大瓦のひとつである「三州瓦」を製造販売している会社であった。H P を見たところ工場見学もできそうだったので、代理で問い合わせると、快諾してくれた。

・丸栄陶業(株) 0566-48-5111

愛知県碧南市白沢町 1-38

その日に宿泊するホテルも東京駅近くのを案内し、翌日の新幹線で向かうことになった。三河安城駅到着後、担当者(英語可)の携帯に電話をすれば駅まで迎えに来てくれるとのことであった。

以上